

武漢はまもなく4つの都市圏鉄道を建設

新華社の報道によると、全国人民大会代表武漢鉄道局局長余卓民氏は人民大会にて、今年の国家鉄道投資 6000 億元のうち、武漢鉄道局の管轄地域への投資額 380 億元を用い、都市圏鉄道と交通システムの構築に取り組む予定であることを発表した。

余卓民氏によると、今年武漢鉄道局の管轄地域において総投資予定額 800 億元(このうち 380 億元は今年投資可能)に及ぶ 14 の新規プロジェクトを立ち上げ、これらは 3 年間で竣工する予定である。新たに設けた 14 のプロジェクトのうち、武漢から咸寧、孝感、黄石、黄冈の 4 つの都市圏内の高速鉄道建設がまもなく着工される。この 4 鉄道により、武漢を中心とし、1 時間以内で周辺都市に到着可能な交通網「1 時間旅客運送交通圏」が形成される。これは湖北省における「8+1」武漢都市圏(武漢市と 8 つの周辺都市による都市圏)建設のために有力な交通運送の保障となる。

4月1日より鉄道ダイヤリニューアル

昨日、武漢鉄道局によると、4月1日よりダイヤがリニューアルされる。今回の調整により、合肥武漢鉄道旅客専用線は、4月1日から 8 往復で、時速 250Km の列車の運行を開始する。これにより、武漢 合肥間 2 時間、武漢 南京間 3 時間、武漢 上海間 5 時間で移動することが可能となり、旅客らにとってさらに便利になることがわかった。

合肥鉄道旅客運輸専用線は、湖北省内初の鉄道旅客専用線であり、湖北省の鉄道旅客運輸が高速時代に突入することを示している。

このほか、武漢からハルビン、昆明までの旅客専用ラインを開通させる見込みである。

天河空港の全体総計画が認可

天河空港は現在の滑走路の東側に 3600 メートルの第二滑走路を新設し、全国でも数少ない複数の滑走路を有する空港となる見込みである。武漢市交通委員会が昨日行った記者発表により、武漢天河空港全体計画は、中国民間航空局と湖北省の両方から認可された。

本プロジェクトは約 120 億元を投資するもので、年内着工のため、前期工程として 1.1 万ムー(7.3 万 a)の土地の買収と周辺の住民を移転が急務となっている。建設期間はわずか 2 年の予定である。

3月26日40万人が墓参りした

清明節(墓を清め、祖先を供養する日)を迎え、多くの家庭が墓参りを考えている。数日中に、好天ともなれば、墓参りをする人出はさらにおおくなると見込まれている。

武漢市民政局の調べによると、石門峰都市陵、扁担山共同墓地、龍泉山孝恩陵、玉笋山陵園、睡虎山共同墓地、帰元陵園など六大公共墓苑へ墓参りした人はすでに37万人に達し、そのうち扁担山共同墓地は11.5万人となり、数日前よりも8万人増加し、そのほかの8つの墓地は合わせて5万人に上った。

石門峰都市陵は朝8時の時点ですでに墓参りのピークを迎え、午後4時まで多くの車が入り出していた。また、睡虎山公共墓苑と帰元陵園も朝6時から墓参りをする多くの車が集まってきて、そのうち約3000台が自家用車であった。

3月26日、各主要な墓地の混雑整理のため、武漢市民政局からいくつかのチームが派遣された。民政局の責任者によると、武漢市のほとんどの市民は礼儀正しく墓参りし、各主要な墓苑の環境はよく保護されていた。

観光地ランキング:武当山、黄鶴楼、大九湖がそれぞれ最上位に

近日、100万人のネット利用者と100名のメディア記者、旅行社の責任者及び経験豊富な旅行家らにより選出された「中国の最も美しい旅行地ランキング」が発表され、湖北省の6つの観光地がランクインした。

神農架の大九湖国家湿地公園は「中国の最も美しい湿地公園」の栄誉を獲得した。武当山は中国の最も美しい十大宗教の名山のトップであり、武漢黄鶴楼は中国の最も美しい6つの名楼のトップであった。

「行游天下」雑誌社と中国旅行胡同団地などのメディアが共催した「中国の最も美しい旅行観光地ランキング」は、立候補した全国509か所の観光地、観光都市の中から最終的に238か所を選出し、30の分野に分けてランキングした。

7名の日本人大学生が料理を学ぶために武漢訪問

練り粉を揉んで、捏ねて、揚げると、武漢名物「大団円」の出来上がりだ。この作り方を見た日本人学生はみな驚きの表情を見せた。

先日、武漢商業服務学院有名な「中国料理の巨匠」劉念清は喜んで新しい弟子を迎えた。日本大分市福德学院の学生7名は、彼の指導のもと、「蟹黄芙蓉卵」、「鮮揚銀雪魚」、「花釀胡瓜」などの中華料理を学んだ。日本人学生は全員料理を専門にしており、今回はこれらの料理を勉強するため一週間武漢に滞在した。

福德学院はこの10年間に、合計7回にわたって、50名以上の学生を武漢市へ派遣し、中華料理を学ばせている。

華中地区における最大の卸売Webが武漢でUP

昨日、華中地区最大のバーチャル卸売販売ネットWeb(衆邦ネット)が、武漢市において正式に通信販売を開始した。関係者によるとこのホームページは「漢口北卸売第一城」に実体のある5万店舗をバーチャル化し、将来的に50万種類の商品をネット販売する。

衆邦ネットは現在華中地区最大のネット卸売取引のプラットホームであり、「漢口北卸売第一城」のオフィシャルなネット取引のプラットホームでもある。「漢口北卸売第一城」はバーチャル取引と店頭販売を並行に行う。双方向性や特徴で、最終的には「全国から仕入れ、全国に販売」という近代的な3Dビジネスの流通体系を構築する意向である。

現在、当ホームページには300社の仕入業者が参加しており、200の有名なブランド品と6000種類の商品を含め、主に服、靴帽子、バック、日用品などが取引されている。

湖北省政府と環境保全省が持続可能な都市圏の協議書に調印

昨日、省政府と環境保護部は武漢都市圏両型社会(資源節約型、環境友好型)づくりの合作協議書に調印した。双方は低支出、高付価、低消耗、少排出、循環型、持続可能な都市圏の発展の方向性を共に探求することになった。湖北省が実施している中部地域勃興戦略を実施するための強固な基盤づくりのため。

当日、羅清泉、省市リーダ及び李鴻忠、李明波、阮成發などの周生賢環境保護部長は湖北環境資源取引所の開業式典に出席した。これは華中地域において初めての環境資源取引所であり、1日の成約量は500t、成約額は約95.6万元に達した。